

## 閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成26年5月16日（金） 8：04～8：19

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

新藤義孝 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

谷垣禎一 国務大臣（法務大臣）

岸田文雄 国務大臣（外務大臣）

下村博文 国務大臣（文部科学大臣）

田村憲久 国務大臣（厚生労働大臣）

林 芳正 国務大臣（農林水産大臣）

茂木敏充 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

太田昭宏 国務大臣（国土交通大臣）

石原伸晃 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

小野寺五典 国務大臣（防衛大臣）

菅 義偉 国務大臣（内閣官房長官）

根本 匠 国務大臣（復興大臣）

古屋圭司 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

山本一太 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

森 まさこ 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

甘利 明 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

稲田朋美 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

陪席者：加藤勝信 内閣官房副長官

世耕弘成 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

小松一郎 内閣法制局長官

横 畠 裕 介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 2件

○国会提出案件 10件

○公布（法律） 4件

○人事 6件

いずれも，案件表のとおり，決定，了解となった。

議事内容：

○菅国土大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。まず、内閣法制局長官の人事について、申し上げます。小松内閣法制局長官から辞任の申し出がありましたので、これを免じ、後任に、横畠裕介内閣法制次長を任命することについて、御決定をお願いいたします。

交代に際しまして、小松法制局長官から、一言御挨拶があります。

○小松内閣法制局長官：1年間に満たない短い間でしたが、末端で安倍内閣のお手伝いをさせていただけたことに感謝申し上げ、また、誇りに思います。安倍総理大臣、官房長官、各閣僚の皆様の御指導に心から御礼申し上げます。

〔小松内閣法制局長官退席。横畠新内閣法制局長官入室〕

○菅国土大臣：横畠新法制局長官を御紹介します。

○横畠内閣法制局長官：この度、内閣法制局長官を拝命いたしました横畠でございます。閣僚の皆様方には、よろしく御指導のほどお願いいたします。

○菅国土大臣：次に、閣議案件について、世耕副長官から御説明申し上げます。

○世耕内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、公賓待遇について、御了解をお願いいたします。バングラデシュ国首相が、5月25日から28日まで、我が国を訪問されることとなりましたので、同期間、公賓として接遇するものであります。

次に、信・解任状に認証を仰ぐことについて、御決定をお願いいたします。本件は、「モザンビーク国」駐箚特命全権大使の異動に伴い、交付すべき信任状及び解任状であります。

次に、質問主意書に対する答弁書9件について、お手元の資料のとおり、御決定をお願いいたします。

次に、第185回国会において採択された請願70件の処理経過を国会に報告することについて、御決定をお願いいたします。

次に、法律の公布について、御決定をお願いいたします。「独立行政法人医薬基盤研究所法の一部改正法」外3件が、14日の参議院本会議において、可決成立したものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、特命全権大使沼田幹男を願いに依り免ずることについて、また、フィジー国兼バヌアツ国駐箚特命全権大使花谷卓治に兼ねてキリバス国ツバル国ナウル国駐箚を、ドミニカ共和国駐箚特命全権大使淵上隆に兼ねてハイチ国駐箚を命ずることを承認することについて、それぞれ御決定をお願いいたします。

次に、厚生労働副大臣土屋品子に第67回世界保健総会日本政府代表を命ずること、外1件について、御決定をお願いいたします。

次に、裁判官人事といたしまして、簡易裁判所判事に兼ねて任命するもの外2件について、御決定をお願いいたします。

次に、小野武司外240名の叙位又は叙勲等について、御決定をお願いいたしま

す。

○菅国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。総務大臣から御発言がございます。

○新藤国務大臣：平成27年国勢調査については、来年10月1日の実施まで約500日となりました。

国勢調査は、我が国に居住する全ての人を対象とする国の最も基本的な統計であり、その結果は、国及び地方公共団体が推進する少子・高齢社会対策，社会福祉対策，雇用対策，防災対策等の各種施策に欠くことのできない資料です。

今回の調査においては、我が国で初めて全世帯を対象としてオンライン調査を実施します。オンラインによる回答数は一千万世帯を超えるものと想定しており、世界最大級の規模となります。さらに、スマートフォンでの回答も可能とするなど、我が国のICTの水準を世界に示す「ビッグチャレンジ」であります。

総務省といたしましては、この「ビッグチャレンジ」を成功させるために諸準備に万全を期してまいりますので、閣僚各位におかれましても、関係団体への周知など、特段の御協力をお願いいたします。

○菅国務大臣：ほかに御発言はございますか。

○安倍内閣総理大臣：先ほど退任の御挨拶をいただきましたが、小松前法制局長官におかれては、お体の具合を押して、日本のために本当によく働いていただきました。改めて敬意を表するとともに、感謝申し上げたいと思います。後任の横畠長官におかれては、職責を果たしていかれるよう、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

○菅国務大臣：ほかに御発言はございますか。

特に無いようなので、これを持ちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件

〔平成26年  
5月16日〕（金）

◎人 事

資 料  
あ り

○内閣法制次長横畠裕介を内閣法制局長官に任命し、  
内閣法制局長官小松一郎を願に依り免ずることについて（決定）

◎一般案件

資 料  
あ り  
資 料  
な し

○バングラデシュ人民共和国首相シェイク・ハシナ  
閣下の公賓待遇について（了解）（外務省）  
☆モザンビーク国駐箚特命全権大使水谷 章に交付  
すべき信任状及び前任特命全権大使橋本栄治の解  
任状につき認証を仰ぐことについて（決定）（同上）

◎国会提出案件

資 料  
あ り ○

1. 衆議院議員鈴木貴子（無）提出環太平洋経済  
連携協定で日米両政府が実質的に合意したと  
する読売新聞報道に関する質問に対する答弁  
書について（決定）（内閣官房）
1. 衆議院議員鈴木貴子（無）提出安倍晋三内閣  
が環太平洋経済連携協定（T P P）交渉に参  
加した経緯等に関する再質問に対する答弁書  
について（決定）（同上）
1. 衆議院議員鈴木貴子（無）提出国会議員の歳  
費のあり方等に対する安倍晋三内閣の見解に  
関する再質問に対する答弁書について（決定）  
（復興庁）
1. 衆議院議員鈴木貴子（無）提出2014年4  
月25日に発表された日米共同声明に関する  
質問に対する答弁書について（決定）（外務省）
1. 衆議院議員鈴木貴子（無）提出日中間の戦後  
補償訴訟に関連した中国政府による強制執行  
に対する我が国の民間企業の対応に関する質  
問に対する答弁書について（決定）（同上）

資料  
ない

1. 参議院議員有田芳生（民主）提出新国立競技場建設に関する質問に対する答弁書について（決定）（文部科学省）
1. 参議院議員牧山ひろえ（民主）提出私学助成に関する質問に対する答弁書について（決定）（文部科学省）
1. 参議院議員浜田和幸（改革）提出墓参訪朝に関する質問に対する答弁書について（決定）（厚生労働省）
1. 参議院議員江口克彦（みんな）提出普天間飛行場の辺野古移設に関する質問に対する答弁書について（決定）（防衛省）
- 第185回国会の衆議院及び参議院において採択された「法務局・更生保護官署・入国管理官署及び少年院施設の増員に関する請願」外69件の処理について（決定）（内閣官房）

#### ◎公布（法律）

資料  
あり

1. 独立行政法人医薬基盤研究所法の一部を改正する法律（決定）
1. 原子力損害賠償支援機構法の一部を改正する法律（決定）
1. 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律（決定）
1. 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律（決定）

#### ◎人事

資料  
あり

- 特命全権大使沼田幹男を願に依り免ずることについて（決定）
- 〃 ○厚生労働副大臣土屋品子に第67回世界保健総会日本政府代表を、財務大臣政務官山本博司外1名にアフリカ開発銀行総務会第49回年次会合臨時総務代理たる日本政府代表代理等を命ずることについて（決定）

- 資料あり  
資料あり  
資料あり  
資料あり
- 各府省幹部職員の任免につき，内閣の承認を得ることについて（決定）
  - ☆判事白石 哲を簡易裁判所判事に兼ねて任命し，判事兼簡易裁判所判事田川直之外 1 名の兼官を免じ，判事田中澄夫外 1 名を願に依り免ずることについて（決定）
  - ☆元厚生事務官小野武司外 2 4 0 名の叙位又は叙勲等について（決定）

〔○署名あり ☆署名なし〕